

浦舟だより

平成30(2018)年3月12日

第11号(第226号)

横浜市立浦舟特別支援学校
E-mail ysurafun@edu.city.yokohama.jp

笑いの力

学校長 長岡 利保

今年度も残りわずかとなりました。この1年間、本校に温かなご支援ご協力をいただき、深く感謝申し上げます。

今年は例年よりも寒さが厳しく、雪の被害もあり、たいへんな冬でした。この異常気象は『ラニーニャ現象』が原因の一つです。インドネシアやフィリピン周辺の状態が日本の大雪につながっているということですが、これを聞いて2月に行った環境教育でみんなが調べたことが思い出されました。環境教育では、『地球は一つ、世界はつながっている、だから大切にしなければいけない。』と考えさせられる機会となりました。これからの未来を、生きとし生けるものみんなが暮らしやすい地球にしていきたいですね。

突然ですが、笑うことは好きですか。他県の病弱特別支援学校の校長先生から聞いた話ですが、その学校で『笑い』をテーマにした授業を行い、それがとても有意義だったそうです。

『笑い』には、さまざまな健康効果があり、その中でも免疫細胞であるNK細胞を活性化させる作用があるということは既に報告されています。笑う、ということに関しては、以前の『浦舟だより』にも書かせていただきました。そのときの内容を振り返ってみると、日々のいろいろな場面での笑顔、それを見て貰う笑顔、そこから生まれる様々な感情と良好な人間関係、さらには心の知能指数(行動は感情に支配される、感情を理解し活用することで心の距離を近づける)などに触れていました。

私も子どもの頃、『笑点』を家族みんなで見て笑っていた温かい記憶があります。楽しかった記憶を思い出すとおもわず口角が上がって、思い出し笑いをすることもありますよね。そうすると、何もかも忘れて心が軽くなるような感じはありませんか。私としては、笑いの力を多方面から研究しているいろいろなところに活用していったほしいと期待しているところです。

いよいよ巣立ちの時期を迎えました。子供たちは日々の学習や行事など学校生活を積み重ねながら、着実に成長できた一年間だったと思います。これからも子どもたちの成長を見守りながら、教職員一同、チーム学校として力を合わせて取り組んでまいります。よろしくお願いいたします。

本校に通学している生徒の紙粘土で作った3センチ足らずのミニチュアサイズの作品です。
食器の上へのせられた食べ物やスイーツ、季節感のある装飾、米粒一粒ずつも手作業です。

ご卒業おめでとうございます



ご卒業おめでとうございます。これから先もいろいろな出会いや出来事がみなさんを待っています。未来に向けて新たな一步を踏み出すあなたを応援しています。

本校・センター病院院内学級より



卒業生のみなさんへ



ご卒業おめでとうございます。楽しかったこと、頑張ったこと、たくさんの思い出を胸に、それぞれ新しい道へと歩いていってください。卒業生の皆さんの前には、たくさんの道が広がっています。未来に向かって羽ばたくみなさんを、いつも応援しています！



市大附属病院 院内学級より



卒業生のみなさんへ



卒業を控え、新たな一步を踏み出すみなさんは、今どんな気持ちでいるでしょうか。きっとドキドキ、ワクワクで胸がいっぱいだと思います。これまで、たくさんの人に支えられてたくさんのことを学んだ日々を過ごしてきました。その思い出を胸に、歩んだ軌跡と乗り越えられた自分の力を信じて！そして、支えてくれる人たちへ感謝の気持ちを忘れずに、これからも自分のペースで前進してください。応援しています。ご卒業おめでとうございます。

訪問部より



4月の予定

4月 1日(日)～4日(水)	春季休業
4月 5日(木)	入学式・始業式・着任式
4月12日(木)	入学・進級を祝う会(福浦)
4月17日(火)	全国学力学習状況調査 (小学6年生・中学3年生)
4月20日(金)	心電図検査(本校)
4月27日(金)	避難訓練

